

さぬき市行政改革実施計画（案）に関する意見募集結果

さぬき市総務部政策課

平成 年 月 日

1 意見募集概要

意見提出期間 平成24年2月3日（金）から2月17日（金）まで

意見提出者数 4名（電子メール2名、郵送1名、その他1名）

2 主な意見の要約と市の考え方

No.	主な意見の要約	市の考え方
1	取組項目とその内容を見る限りでは、市の現状や効果の具体的な算出方法が不明瞭であり、分かりにくい。	行政改革実施計画では、市の課題や実施内容などを分かりやすくするために出来る限り簡潔な表現に努めました。この結果、御指摘のように詳細な背景や取組内容の記載が不十分になっていることは、御理解願います。 効果額の算出に関しては、個々の計画、他自治体との比較、近年の物価等の動向などの基礎データを基に算出したものであり、これらの取組により、持続可能な行財政運営等を目指します。
2	「自立する都市」の実現と記載されているが、今後どれだけの一般財源が不足する見込みであり、その不足分を補えるような計画となっていないように思われる。 目指すべき行財政の姿を明らかにすべきではないか。	この計画は、「自立する都市」を目指して、市の行政運営の効率化とサービスの向上を図っていくための具体的内容等を定めたものです。 本市では、交付税や市税等の歳入の減少に加え、公債費やサービス給付等の歳出の増加が予想され、一定の収支不足が見込まれると予想されますが、具体的な収支については、年度内を目途にお示しする予定です。

		<p>今後は、本計画（案）において検討すべき内容を確定させるとともに、来年度策定予定の「財政健全化策」において、収支不足を解消し、持続可能な財政運営を図っていくための道筋を明らかにしたいと考えています。</p>
3	<p>分散している事務所を一つにすることが最大の行政改革になると考えるが、庁舎の計画が入っていないのはなぜか。また、支所の見直しも検討する必要があるのではないか。</p>	<p>御指摘のとおり、庁舎をはじめ、支所・出張所の配置や施設の統廃合は本市の大きな課題のひとつです。</p> <p>この課題克服に向けた取組として、市のグランドデザインを描き、施設の適正配置に向けた調査・検討を行うこととしており、実施計画に盛り込んでいます。</p>
4	<p>学校再編と保育所を別々に記載しているが、子育てと教育を含めた全体の計画の策定ということを項目として記載してほしい。</p>	<p>学校施設については、学校再編計画に基づき、既に統合を進めているところであり、今後も本計画に沿った取組がなされることとなります。</p> <p>保育所についても、受け皿となる施設の確保など、再編に向けた調整を図っているところですが、幼保一元化の動向などを注視しつつ、今後も学校再編との一定の連携を図っていきます。しかしながら、現時点でこれらを包括する計画の策定については予定しておりません。</p>
5	<p>定員及び配置の適正化など、職員数を削減する計画が掲載されているが、権限委譲などの業務は増えており、「より質の高い行政サービス」を目指しながら、人員を削減することは可能か。</p>	<p>御指摘のとおり、市民サービスの向上や権限移譲の推進による業務の増加への対応のため、更なる職員の確保が必要な場面も想定されます。依然として厳しい財政状況の下、限られた人員でこれら課題と向き合うことを前提とし、計画の策定を進めています。</p>
6	<p>職員の削減との記載があるが、窓口時間の拡大など市民サービスの向上に向けた取組の実施に向け</p>	<p>このことから、組織の現状を常に</p>

	た職員の確保も必要である。	検証し、適正な人員配置を図るとともに、事務改善による効率的・経済的な組織の構築に努めます。
7	<p>合併特例債を活用すると記載されているが、平成26年度も活用できるのか。</p> <p>また、この計画は「新市の建設計画」に掲載されていたのか。</p>	<p>合併特例債は、合併市町が市町建設計画に基づいて行う事業に活用することができる地方債です。当初は合併後10か年度に限り活用可能でしたが、期限が延長される見通しとなっており、本計画（案）はそのことを前提とした内容としています。</p> <p>今後は、事業実施の適否の検証を常に行い、地方債借入額の抑制に努めるとともに、真に必要な事業については、特例債の積極的な活用を進めることで、市及び市民の皆さんの負担の抑制に努めます。</p>
8	基金の運用方法の見直しなどは記載されていないが、実施計画に盛り込んではどうか。	債権による運用など、基金の有効な運用による収入確保対策は、すでに実施しており、今後も経済情勢等を勘案し、有利な運用を継続的に検証していくこととしています。
9	自動販売機設置手数料の見直しや決裁などの事務手続きの簡素化などは実施計画の項目に挙げるべきではないのではないか。もっと大きいことを重点的に取り組む必要があるのではないか。	<p>行政改革の第一歩は、「当然のことを当然に行う」ことから始まるものであると考えており、小さな取組にも大きな役割があるほか、事務改善による波及効果は決して小さくはないと考えています。また、主に市民により組織された行政改革推進委員会において、当事者では見落としがちな「当然のこと」について、市民目線で御意見をいただき、可能な限り当計画（案）へ反映していますので、御理解願います。</p> <p>なお、今後市の重点的に推進していく戦略及び具体的取組内容等に</p>

		<p>については、本市の最上位計画である「さぬき市総合計画」を御確認ください。</p>
10	<p>「収入＝支出」となるよう小さな行政を目指してほしい。</p> <p>公務員給料、定員のカットや税金の滞納整理を強く要望する。</p> <p>施設及びイベントの集約による経費削減を要望する。</p> <p>光ブロードバンドは民間による整備を前提としてほしい。</p> <p>市営住宅の使用料回収を徹底してほしい。</p> <p>市民から意見募集をするのであれば、すべての補助金交付団体の公表などの情報公開が必要。</p>	<p>御意見も踏まえ、より効率的な行政運営と収支の均衡のとれた財政運営に努めていくため、一層の行財政改革を推進します。</p>